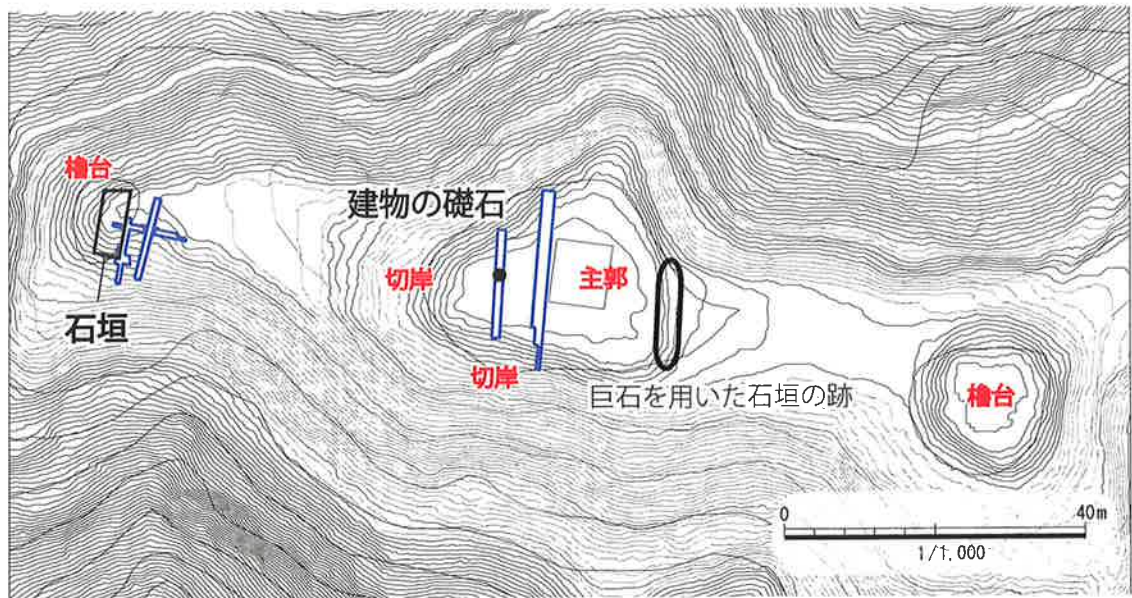


# 小島城跡 現地説明会資料





小島城跡調査地点図



### 小島城跡における試掘確認調査の概要

主郭において建物の礎石一つが見つかった。全容は不明だが、主郭にも何らかの礎石建物があったことが分かった。また、調査前に虎口と考えられていた場所で石垣の隅部を確認した。すでに地表に露出している石垣から想定すると、方形の櫓台があったものと考えられる。これらは、石垣に裏込めを持つことなどから、金森氏による改修の痕跡と考えられる。

また、主郭では、「かわらけ」（中世の酒器）や瀬戸美濃焼の皿など姉小路家の一族である小島氏が使用したと推定できる遺物も出土した。

このように、今回の調査では、姉小路氏の一族・小島氏の居城であった小島城跡を、秀吉から命を受けた金森氏が飛騨を平定した際に改修を行ったと分かった。古川城跡と同様に、織豊政権にとって新たな領土支配に城郭がいかに重要であったかを示す全国的に貴重な事例と言える。